
チョコより甘く...

遊佐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チヨコより甘く・・・

【Nコード】

N7584I

【作者名】

遊佐

【あらすじ】

バレンタインデー・・・

デイナーにチヨコをあげようとしている雲雀に・・・？

(前書き)

ディノヒバ^デ
↑骸

キャラ崩れサーセンorz

今日はバレンタイン。

僕は、このような行事はキライなのだが・・・
今年だけは、この行事をチャンスにしてもいいと思った。

僕は1人、屋上で日なたぼっこ。

『・・・もうすぐで11時か。』

11時。ディーノと会う約束をした。
会ったら、渡そうと用意してたモノがあった。
だが・・・

『・・・置き忘れ。』

何を浮かれていたのか、僕は用意物を応接室に置いてきてしまったのだ。

急いで、取りに帰ろうとしたら・・・

「クフフフ、あなたの忘れ物はコレですか？」

この声はっ！！六道骸だ。

『・・・一体何の用？それと、その包み・・・』

応接室から盗んだのだろうか、

僕が応接室に置き忘れてた用意物が

骸の手に渡っているではないか。

「さっさと返してくんない？」

僕は、骸をにらむ。

「クフフフ・・・返しませんよ。あなたの手作りだといつのなら、
なおさら。」

ニタツとした笑みを浮かべる骸。

もうすぐ、ディーノが来る時間だ。
それまでに取り返さねば・・・

と、その時・・・

「おいおい、何2人で遊んでんのー？」
来た、やって来た。ディーノがやって来た。

「おやおや、跳ね馬ですか。では、僕は消えるとしましょう。クフ
フフ・・・」

そう言くと、骸は霧に包まれて、消えた。
そして、僕は重要なことに気づかされる。

ディーノのために用意してたモノ・・・
骸が持つていつてしまった。
僕は動揺しかける。

「なあ恭弥、渡したいもんって何？」
ディーノが訊いてきた。

僕は言葉につまる。
だが、正直に言った。

何故正直に言ったのか、僕自身にも理解できないが・・・

「チョコレート・・・作っただけど。骸に盗まれた・・・」

「まっ・・・まじかよー！！うわっ！恭弥の手作りチョコ、めっちゃ
食べたかったあー！！」
わめくディーノ。

チョコを盗んだ骸も悪いが、
盗む隙を与えた僕も悪い。

でも、ディーノのためなら、
いくらでもチョコを作ってやってもいいんだけど・・・

僕が下を向こうとする。

そしたら、ディーノが・・・

オレの顔を手でつかみ、キスをしてきた。

チョコのように、すごく甘いキス。

上手いのかどうか分かんないけど、
ディーノのキスは美味い。

「やっぱオレ、チョコよりこっちのが好きだな！」

「・・・馬鹿。」

僕は呟く。

そして、僕たちは何度もキスを交わした。

終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7584i/>

チョコより甘く...

2010年10月11日11時23分発行